

連載を終えて

「地方の常識」は、ある地域では公共財として普通に使われているのに、ほかの地域では見られないような土木にかかわる構造物や風習について、各支部より紹介してもらい、地方の特色について考えるヒントにしたいという企画趣旨のもと、連載を開始した。

各支部より原稿が提出されるたびに、独自企画の多種多様さに、改めて驚いた。本連載を簡単に振り返ると、石灰を用いたアスファルト骨材、シラスを用いた保水基盤、地域に自生する苗木などのように地域に産出する自然素材を有効活用したものや、吹雪避難用のパーキングシェルター、電話ボックスの基礎台などのように地域の気象条件に適合した構造物など、他の地域では真似のできない、地域独特の規格が紹介されている。そのほか、ガードレールの色、「マルハチ」、「PiTaPa」、「ピーター」など地域の文化に根ざしたものもあった。数字で記号化された交差点は、今でこそ地方の常識かもしれないが、将来は日本の常識になる可能性さえ感じる規格といえる。

情報伝達スピードが速くなり、画一的な世の中になりがちであるが、地域の独自性の面白さ、良さを見直すヒントになれば幸いである。最後に、本連載に際し、支部の特色を調査し、執筆をいただいた支部会員の皆様に御礼を申し上げ、連載を締めくくりたい。

(伊藤 悟郎)

表1 地方の常識 連載一覧

| 掲載号 | タイトル | 担当支部 |
|------|---------------------------|-------|
| 1月号 | 白と緑のアスファルト舗装 | 四国支部 |
| 2月号 | 夏みかん色のガードレール | 中国支部 |
| 3月号 | マルハチ | 中部支部 |
| 4月号 | パーキングシェルター | 北海道支部 |
| 5月号 | シラスを活用した市電軌道の緑化 | 西部支部 |
| 6月号 | 電話ボックスの基礎台 高さや雪への対応 | 東北支部 |
| 7月号 | PiTaPa 異彩を放つポストペイICカード | 関西支部 |
| 8月号 | 数字で記号化された交差点 千葉県成田市 | 関東支部 |
| 9月号 | 砂を撒きながら、歩こう | 北海道支部 |
| 10月号 | 高速道路に故郷の木が戻る 地域性苗木 | S班 |
| 11月号 | 「ピーター」の謎 なぜ除雪機をピーターと呼ぶのか? | S班 |
| 12月号 | 見える水のある生活 郡上八幡水事情 | S班 |

地方の常識
地域特性を活かした独自規格

編集企画主査 亀谷 一洋、伊藤 悟郎
編集企画担当 S班